

授業科目名	【G】 地理歴史科指導法 I	区分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2		
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単独	【G】 教員の免許状取得のための選択必修科目(中一種免社会)、必修科目(高一種免地歴)						
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)							
サブタイトル	中等教育における地理・歴史教育の指導法			担当者	小関 勇次			
授業概要	【概要】	<p>【実務経験を活かした授業】 高校地理歴史科教諭の経験を活かし、地理歴史科の指導内容と教授法を習得させ、教壇に立てるだけの力量を身につけさせる。</p> <p>【概要】 地理歴史科指導法 I は学習指導要領をテキストとした「理論」を中心に学ぶ。従って地理歴史科教員として必要な教養を身につけることを目標とする。</p>						
	【到達目標】	<p>1 地理教育に必要な空間的思考力を涵養し、地理的技能を身につける。 2 歴史教育に必要な歴史認識形成の基礎を培い、学習指導の技能を身につける。 3 高等学校地理歴史科の目標・内容について理解し、将来教壇に立てる知識と技能を養う。</p>						
履修条件	中学校社会科・高等学校地理歴史科教員を目指す強い意志を持っていること。							
アクティブラーニングの方法	【-】	事前学習型	【-】	反転授業	【-】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【-】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【-】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	○ (やや当てはまる)						
他科目との関連性	地理歴史科指導法 II を履修すること。また、地理学概論を履修すること。							
教科書	高等学校学習指導要領解説(平成30年告示) 地理歴史編(文部科学省)							
参考書	高等学校で履修した地理・日本史・世界史の教科書を準備する。							
評価方法	レポート60%、学習指導案30%、授業への参加態度10%の合計で評価する。							
フィードバック方法	授業(対面式)において指導・助言する。レポート・学習指導案などの提出物等については添削指導する。							
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、適切に理解できたものについては「S」または「A」を与える。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。評価不能な場合、「F」を与える。							

授業 科目名	【G】 地理歴史科指導法 I	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
授業回数	授業内容					
1	地理歴史科教員の仕事（ある地歴科教師の一日）					
	予習： シラバスをよく読んでおくこと。テキストを確認すること。(90分)		復習： シラバス・授業内容・教師の心構えについて整理する。(90分)			
2	高等学校学習指導要領「地理歴史科」の学習目標と内容構成					
	予習： 高等学校「地理歴史科」の学習目標について調べておく。(90分)		復習： 高等学校「地理歴史科」の学習目標についてまとめておく。(90分)			
3	高等学校学習指導要領「地理歴史科」の指導内容と学習計画					
	予習： 地理・日本史・世界史の指導内容について調べる。(90分)		復習： 地理・日本史・世界史の指導内容についてまとめる。(90分)			
4	地図の種類と活用 白地図・統計地図・歴史地図の扱い方					
	予習： 地理的領域と歴史的領域からそれぞれ主題図を作成しておく。(90分)		復習： 統計地図と歴史地図をテーマとした主題図を作成する。(90分)			
5	統計・年表・図版の種類と活用 資料の提示と活用法					
	予習： 統計・年表・図版・資料を用いた授業のプランニング。(90分)		復習： 統計・年表・図版・資料の作成(レポート1)。(90分)			
6	地域調査の手法① フィールドワークの計画と準備(地理的領域 AL)					
	予習： 学習指導要領 地理的領域の「地域調査」についてまとめておく。(90分)		復習： 「身近な地域調査」のプランニング。(90分)			
7	地域調査の手法② フィールドワークの実際(歴史的領域 AL)					
	予習： 学習指導要領 歴史的領域から「郷土史教育」についてまとめる。(90分)		復習： 「郷土史教育」のプランニング。(90分)			
8	博学連携 博学連携の計画と学習効果					
	予習： 「博学」の事例を調べておく。(90分)		復習： 「博学」のプランニング。(90分)			
9	地理歴史科教員に求められる「国際理解教育」					
	予習： 学習指導要領の「国際理解教育」に関する内容を把握しておく。(90分)		復習： 「国際理解教育」プランニング。(90分)			
10	地理歴史科教員に求められる「平和教育」					
	予習： 学習指導要領の「平和教育」に関する内容を把握しておく。(90分)		復習： 「平和教育」のプランニング(レポート2)。(90分)			
11	学習指導計画とシラバス					
	予習： 地理歴史科指導法 I のシラバスを把握しておく。(90分)		復習： 「シラバス」の作成。(90分)			
12	学習指導案の作成① 学習指導案の事例紹介					
	予習： 学習指導案について調べておく。(90分)		復習： 「学習指導案」のプランニング。(90分)			
13	学習指導案の作成② 学習指導案の書き方					
	予習： 学習指導目標、指導内容を決定する。(90分)		復習： 「学習指導案」作成 指導目標と指導内容を整理する。(90分)			
14	学習指導案の作成③ 学習指導の導入・展開・まとめ					
	予習： 授業資料(プリント)を活用例をまとめておく。(90分)		復習： 「学習指導案」作成 授業資料を作成する。(90分)			
15	学習指導案の作成④ 提出・報告（学生の作成した学習指導案の相互評価 AL）					
	予習： 学習指導案報告会の準備をしておく。(90分)		復習： 「学習指導案」の修正と整理をする。(90分)			
その他	教師としての資質は普通の授業態度にあらわれる。例えば、遅刻や欠席の多い者や課題の提出のない者などは教師として不適格である。「自分は教師」と置き換えて履修する態度が望ましい。					